



特定非営利活動法人
富山県防災士会会報
(NPO 法人日本防災士会・富山県支部)

第22号
平成30年10月1日
発行 富山県防災士会
連絡先 090-9762-8267
(事務局長：佐伯)

特定非営利活動法人日本防災士会
北信越支部連絡協議会 総会を開催



7月22日、日本防災士会北信越支部連絡協議会の総会が、金沢市松ヶ枝福祉館で、新潟、富山、石川、福井の4支部から代議員5名が参加し開催されました。

総会では平成29年度の活動報告、収支決算報告、会計監査報告、一部会則改訂案、災害時の活動指針案が承認されました。「災害時の活動指針」とは、北信越支部内で大規模災害が発生した場合、被災地支部の状況把握に努め、可能な範囲で協力するための指針です。

続いて、平成30年度の役員、活動計画、予算等が承認され、今後更に支部間の連携を強化していくことになりました。

午後からは、日本防災士会の松尾好将理事長の講演があり、最重要課題として「地区防災計画の推進」を掲げ、各地区でもう一步推進し、防災対策指導員の育成や災害別対応マニュアルの作成にも取り組むことが要望されました。

続いて、石川県防災士会より、避難所運営ノートをテーマにしたワークショップが開催され、楽しく、みんなで考える力を養うことが一番大切であることを教えられました。(記 川戸)



第3回スキルアップ研修会
タイムラインの考え方に基づくワークショップ

7月7日、サンシップとやまで第3回スキルアップ研修会が開催されました。内容は、巨大台風による大雨洪水・氾濫流での家屋倒壊を想定したもので、タイムラインの考え方に基づくワークショップと考察です。

今回は、9月21日に台風が発生し、サイパンを北上し日本に向かっていている事例をもとに、発生から4日後の25日15時の予報が、26日夜から27日午前0時に富山県を直撃すると予報が出たと仮定し、台風発生から、27日の被害発生までのA地区自治会の現状と災害時対応策について、事前防災行動計画を立て、「いつ、だれが、何をすべきか」時系列で整理しました。



タイムラインの考え方では、以下の導入効果が得られると感じました。

まず、災害時の実務担当が先を見越した早めの行動ができること。次に意思決定者は不測の事態の対応に専念でき、防災関係機関の責任の明確化ができること、さらに防災行動の抜け、漏れ、落ちの防止が改善できるとともに、関係機関と顔の見える関係ができることです。

気象情報を正確に把握し、避難場所、避難方法を確認し、避難勧告や避難指示を住民にどう徹底するか、(特に夜中)、また、家の外・中での備え、避難時の注意、避難遅延者、留守宅の対応、要配慮者の把握等が重要であり、地区の自主防災訓練等を重ねる中で基礎体力をつかっていくことを学びました。また、防災訓練に参加できなかった方にも資料の配布等でタイムラインを活用した周知をはかっていくことの重要性を感じた次第です。(記 登坂)

富山県防災士会ホームページを開設
当会の活動や取り組み等をご紹介します。
<https://www.toyama-bousaishikai.org>



会 員
自己紹介

防災士 下高 暁子 (富山市)

私は平成 25 年の秋に防災士になりました。ちょうどこの年地域の町内会長になり、度重なる災害を目の当たりにし、我が町内ももっと防災に力を入れないと、と強く思い、年に 1 度は防災講座ひらきました。



町内会長の任を終えてからも、防災減災について理解の輪を広げ、昨年 6 月、これまでの働きかけが実り、町内会の承認をもらい念願の自主防災組織を結成しました。

今年 3 月には、女性のための防災講座。6 月には男性のための防災講座を開催。そして今秋、町会をはじめって以来の一大イベント避難訓練を実施します。避難所が遠く、高齢者が多いわが町内にとっては、避難訓練は、容易なことではありません。何度も役員と会議をしたり、町歩きをしたりと試行錯誤の連続です。しかし見て歩いて初めてわかることもありました。災害時には、行政機関を待つのではなく自分たちで動き、要援護者をどのように援護できるかを女性の立場で考え、皆さんが安心して暮らしていける町内を作りたいと思います。まだまだスキルアップしたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いします。

平成 30 年度 県市町村総合防災訓練に参加

9 月 2 日、富山県総合防災訓練が氷見市を中心に高岡、射水市を含む 9 会場で行われ、富山県防災士会では以下の会場で約 40 数名が参加し啓発普及活動を行いました。

氷見市中央町会場	津波避難訓練、中川副理事長の津波避難に関する講話
氷見市湖南小学校会場	避難所開設・運営訓練・防災知識の普及、防災対策
高岡国吉小中学校会場	避難所巡視訓練
竹平記念体育館会場	防災啓発
射水市作道小学校会場	家具転倒防止器具、防災備蓄品展示及び啓発

氷見市湖南小学校では、集中豪雨、震度 7 の地震が発生との想定のもと、避難訓練、避難所運営訓練が行われ、避難を促す 3 種類の情報や情報伝達方法の説明・問仕切り訓練・救護・炊き出し、物資供給・要配慮者の避難誘導、ボランティア事務所開設が実施され、富山県防災士会のブースでは、防災関連グッズ展示の説明や HUG 訓練を実施しました。



訓練を重ねながら防災士も市民も災害に対し、進化と深化をすすめていければと思います。(記 山口)

富山県防災士会は、平成 30 年度富山県学校安全アドバイザー (防災) を 5 校に派遣します

学校安全アドバイザーは、県が指定したモデル校の危機管理マニュアルの点検・見直し、避難訓練に対して助言・指導を行い、学校の安全管理及び安全教育の推進の充実に努めるものです。今年度は、黒部市桜井中学校、滑川市南部小学校、高岡市伏木中学校、南砺市利賀中学校、富山県立伏木高校の 5 校に 10 名の防災士を派遣します。

会員研修会のお知らせ

■女性防災士のつどい

1. 開催：10 月 14 日(日) 14～16 時 受付 13 時 30 分から
2. 場所：ファボーレ 1 階カルチャー研修室
3. 内容：NHK 富山「ニュース富山人」の気象情報を担当されている篠原正氏の講演とワークショップを開催します。女性防災士の参加をお待ちしています。

■北信越支部連絡協議会 防災士スキルアップ研修会

1. 開催：10 月 21 日(日) 13 時 30 分～17 時
2. 場所：野々市市富奥防災コミュニティーセンター
野々市市中林 5-3-22 Tel 076-248-0829
3. 内容：気象防災ワークショップ&地区防災計画
4. 申し込み：石川県防災士会 sp4t33n9@friend.ne.jp

Topics

会員の活動から

富山市杉原小学校親子防災教室防災講座

8 月 5 日の猛暑の中、昨年移転新築された八尾消防署で親子 100 人が参加して防災講座が行われました。



講座では、災害列島日本で今、地震が起きたらどうなる？今、地震が起きたらどうする？とし、地震から自分の命を守るには家具の転倒防止や家族会議を行うことが「助かる命を助ける」こと。日頃から災害について考えることが生き抜く力になる等親子で学習しました。体験学習では、消防署の見学、消火放水、担架搬送、三角布を使ったキズの手当てを行いました。また 119 番通報による救急車の緊迫した出動を目のあたりにする事が出来ました。(記 荻生)

★★ 私たちも応援しています ★★

賛助会員 (8 月現在)

- ・ (株) 林建設
- ・ (医) 五省会
- ・ テラビッツ (株)
- ・ 全労災富山県本部
- ・ 宮本建築
- ・ エムアイビジョン (株)

※本会の目的に賛同・協力していただける賛助会員を募集しています。